

令和6年6月17日

## 長浜市と米原市による「県と市町の連携による産業用地開発事業」への 共同申請について

長浜市と米原市（以下「両市」という。）は、滋賀県が募集している「県と市町の連携による産業用地開発事業」に共同で申請することとしましたので、お知らせします。

### 1. 概要

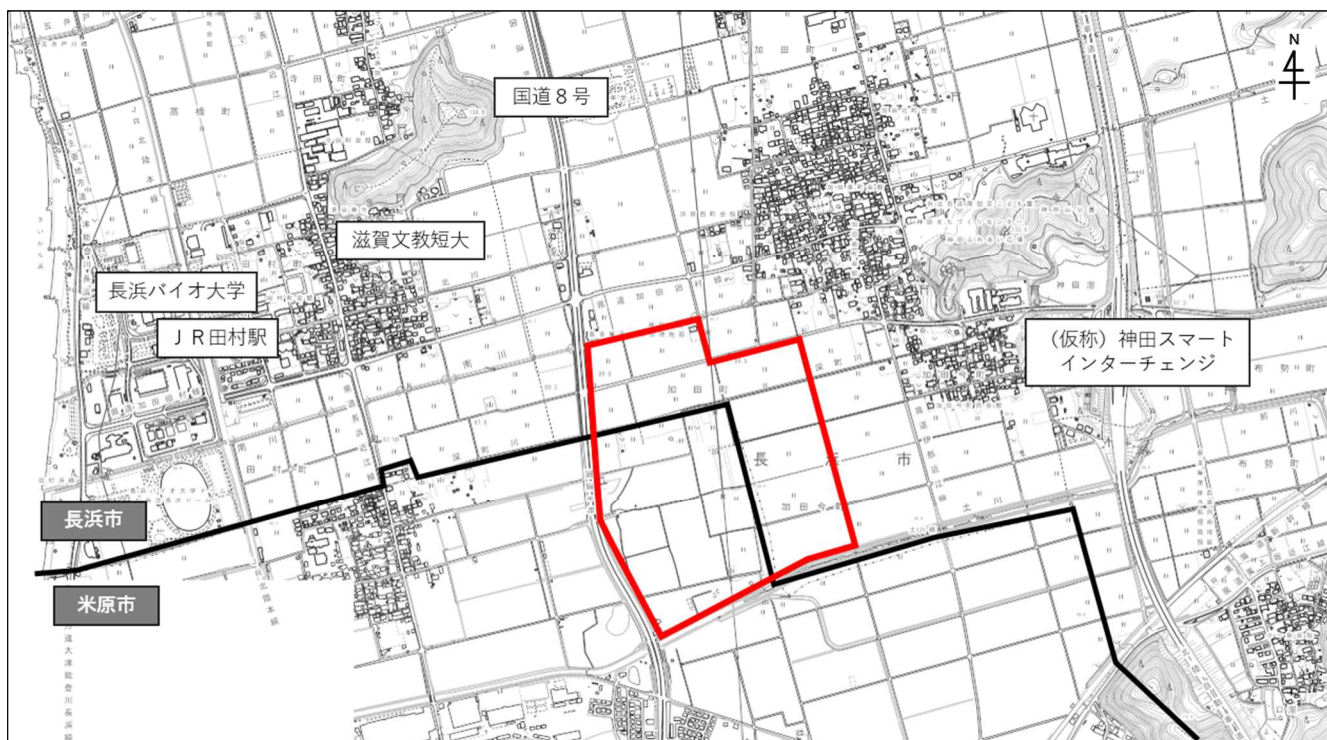
企業の設備投資意欲の高まりを背景に、滋賀県は、産業立地戦略に基づき、県内北部地域（長浜・米原・高島）及びそれ以外の合計2か所で「県と市町の連携による産業用地開発事業」に取り組むとし、本年3月から候補地の募集を開始されました。

当事業は、人口減少及び若者の流出などの課題解決につながり、まちの持続的な発展に大きく寄与することから、両市それぞれが、候補地の選定に取り組んでいたところです。両市において検討を進める中、相互に連携・協力しながら事業の実現を目指すことで両市の認識が一致し、合意に至ったことから、今回、下記の用地を適地として選定し、両市が共同で当事業に申請するものです。

### 2. 県へ提案する候補地

場所：長浜市加田町・加田今町地先及び米原市長沢地先

面積：約35ha（長浜市 約18ha、米原市 約17ha）



### 3. 候補地を選定した理由

県の審査基準

- ① 交通の利便性、水道等周辺インフラの整備状況、人材確保の容易さなどの立地条件
- ② 候補地に係る地元の意向、開発に係る各種許可手続きなどの事業の実現性
- ③ 浸水等災害リスク 他



企業が用地を選定する際に重要視する要素は交通の利便性

企業誘致にあたって本市の利点である「交通の結節点」を最大限生かせる場所を選定

- ・ 完成予定の（仮称）神田スマートインターチェンジから 600m
- ・ 1 級国道である国道 8 号に隣接
- ・ JR 田村駅から徒歩圏内、新幹線米原駅から近い

その他、長浜バイオ大学や長浜サイエンスパークなどに近接（産学・産産連携）

※両市が選定した候補地について、「立地の優位性」、「開発の実現性」、「産業用地の良否」等の視点に基づき総合的に判断した。

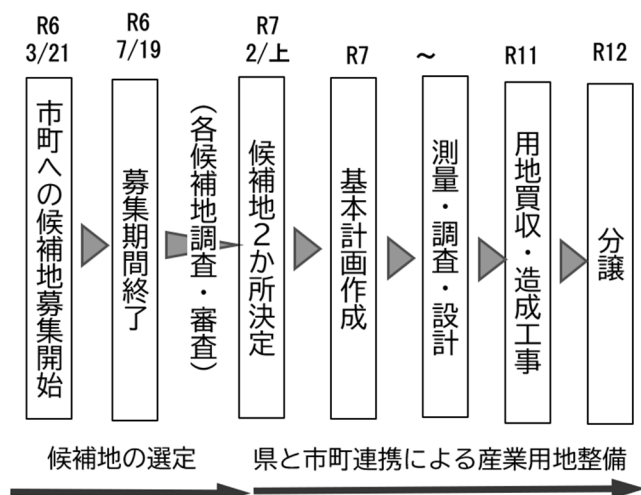
### 4. 両市が共同申請する理由

- ・ 大規模な産業用地を確保しながら、市内農業者や農地への影響を低減できる。
- ・ 国道 8 号に接する面積が多く取れることで、企業に求められやすい。
- ・ 両市で事務手続きや各種調整を効率よく進めることができる。
- ・ 事業整備に伴う市町負担額を低減できる。

### 5. 県が重点的に立地を促進する産業分野（滋賀県産業立地戦略に定める産業分野）

- ①医薬品・医療機器 ②バイオ ③蓄電池 ④電子部品・半導体 ⑤新モビリティ ⑥情報通信業  
⑦グリーン物流 ⑧観光（宿泊施設に限る）

### 6. 経過及び今後のスケジュール（案）



問い合わせ先

長浜市：商工振興課 65-8766（直通）

担当：川村、坪井

米原市：シティセールス課 53-5146（直通）

担当：藤田、奥田

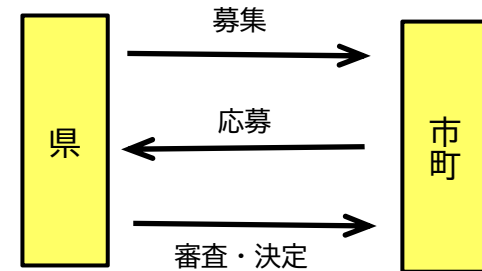
# 滋賀県と市町の連携による産業用地開発事業

参考資料

## 概要

サプライチェーンの再構築や県内企業の設備投資意欲が高まる中、滋賀県産業立地戦略の方向性に基づき産業立地を強化するため、**県が主体となり、市町と連携して大規模な産業用地を整備。**

- 1 選定手順 : 県内の市町から候補地を募集し、開発の実現性や立地条件など総合的に審査の上、事業用地を決定。  
募集期間 令和6年3月21日(木)～7月19日(金)
- 2 選定件数 : 北部地域(長浜市、高島市、米原市)1か所、その他地域1か所 計2か所
- 3 規模 : 1か所10ha以上
- 4 審査基準: 以下の審査基準等に基づき、専門的な知見による評価もふまえ、総合的に審査。
  - (1) 募集要件の各要件を満たしているか。
  - (2) 浸水等災害リスクが少なく、安全性が高いか。
  - (3) 候補地に係る地元の意向や、開発に係る各種許可手続きに支障がなく、市町が作成する各種計画や方針と整合が取れているなど、事業の実現性が高いか。
  - (4) 整備費や、見込まれる売却単価が抑えられ、経済性が高いか。
  - (5) 交通の利便性や、水道等周辺インフラの整備状況ならびに人材確保の容易さなど、立地条件に優れているか。
  - (6) 市町の誘致体制が構築されている、または、構築される見込みとなっているなど、産業用地の開発や企業誘致活動を県と協力して積極的に行える体制となっているか。



## 滋賀県が重点的に立地を推進する産業分野

滋賀県が有する強みや国の産業政策の動向等から、今後更なる成長が期待できる、また、成長を後押しする以下の産業分野について、重点的に立地を推進する。



## ○ スケジュール案

